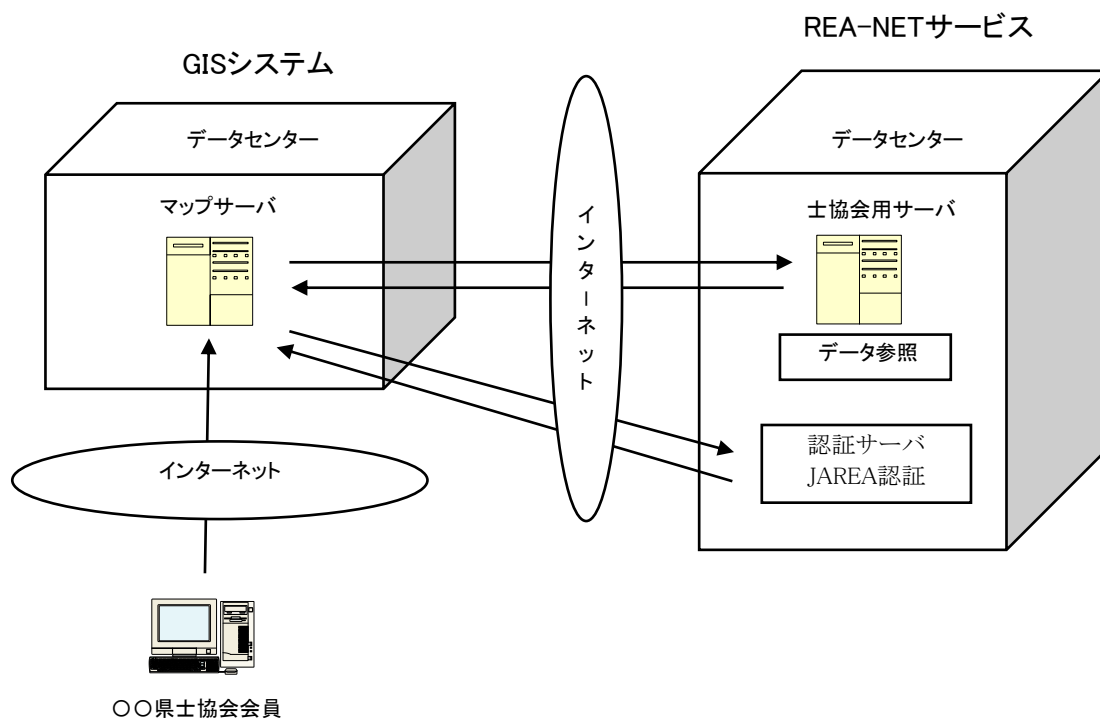


NSDI事業を達成するための士協会版テストGISイメージ

士協会会員へGISサービスを提供するに当たり、次の項目の検討が必要です。

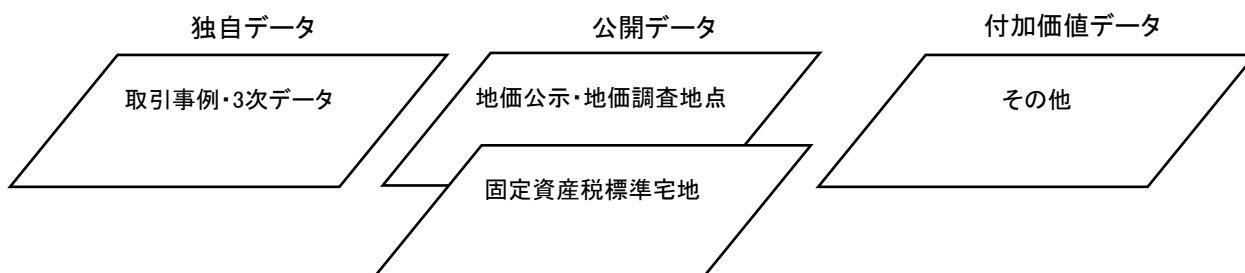
1. GISシステム構築
士協会は会員への独自サービスとして構築します。(アプリケーション、背景地図及び著作権)
2. JAREA認証の活用
士協会の独自サービスには、JAREA認証を活用します。
3. REA-NETサービスのデータ参照 (取引事例・3次データ等)
GISサービスとREA-NETサービスと取引事例データ等の二重管理を行わないように、REA-NETのデータ参照を行う。

システム構成イメージ図



会員への公開データ (第1ステップ)

会員へ公開するデータは士協会で検討します。



国民への公開データ (第2ステップ)

今後は国民に対して付加価値の高いデータを作成し、提供することが重要となります。